

## 内水面漁業生産統計調査の民間競争入札に係る措置に関する計画(案)

平成23年 3月

農林水産省

## 1 措置に係る計画案

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号。以下「法」という。）及び公共サービス改革基本方針（平成22年7月6日閣議決定。以下「基本方針」という。）（別添1）に基づき、内水面漁業生産統計調査における民間競争入札について、次のとおり計画案を策定した。

## 2 業務の概要

内水面漁業生産統計調査は、内水面漁業・養殖業の生産に関する実態を明らかにすることにより、内水面漁業振興対策等の水産行政の資料及び社会的情報基盤の整備に資することを目的とし、内水面漁業漁獲統計調査、内水面養殖業収獲統計調査及び3湖沼漁業生産統計調査の3つの調査を実施している。

## (1) 調査の期日

調査年の翌年1月～3月

## (2) 調査の事項

## ア 内水面漁業漁獲統計調査

(ア) 魚種別漁獲量

(イ) 天然産種苗採捕量

## イ 内水面養殖業収獲統計調査

(ア) 魚種別収獲量(食用)

(イ) 魚種別種苗販売量

## ウ 3湖沼漁業生産統計調査

(ア) 漁業種別魚種別漁獲量、天然産種苗採捕量

(イ) 養殖魚種別収獲量

(ウ) 魚種別種苗販売量

## (3) 調査対象

## ア 内水面漁業漁獲統計調査

漁業権の設定等が行われているすべての河川及び湖沼（琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦を除く。）を調査範囲として実施した調査結果に基づき、年間漁獲量50トン以上の河川及び湖沼並びに年間50トン未満の河川及び湖沼であっても、統計部長が国の施策上、毎年の調査が必要として指定した河川及び湖沼を管轄する内水面漁業協同組合又は同河川及び湖沼で内水面漁業を営む漁業経営体。

ただし、平成25年調査においては、漁業権の設定等が行われているすべての河川及び湖沼（琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦を除く。）を管轄する内水面漁業協同組合又は同河川及び湖沼で内水面漁業を営むすべての漁業経営体。

## イ 内水面養殖業収獲統計調査

全国のます類、あゆ、こい及びうなぎを養殖するすべての内水面養殖業経営体。（琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦を除く。）

## ウ 3湖沼漁業生産統計調査

琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦で生産された水産物を扱うすべての水揚機関、漁業経営体及び養殖業経営体。

- (4) 調査客体数
  - ア 内水面漁業漁獲統計調査  
約700客体(ただし、平成25年調査は全数(平成20年調査(1,213客体))
  - イ 内水面養殖業収獲統計調査  
約1,800客体
  - ウ 3湖沼漁業生産統計調査  
約130客体

### 3 入札の対象範囲

実査準備(調査関係用品の印刷、調査員の確保・指導、調査客体への協力依頼・確定)、実査(調査関係用品の配付、オンライン調査システムの回答者情報登録、調査客体からの問い合わせ・苦情等への対応、調査票の回収・督促)、審査(調査票の内容審査、調査客体への疑義照会)、調査票データの電子化、集計(調査票データの集計、内水面漁業・養殖業生産量に関する情報の作成、審査)、統計表の作成・審査、調査客体への謝礼支給

### 4 入札等の実施予定時期

平成23年7月ごろを目途に入札公告し、平成23年11月から落札者による事業を実施する予定。

### 5 契約期間

平成23年11月から平成26年8月までの2年10か月

### 6 計画案策定に当たっての考え方

#### (1) 民間競争入札導入の経緯及び実施状況

法に基づく基本方針において、本調査については、民間競争入札の対象とされ、平成21年11月から平成23年8月までの1年10か月間の予定で民間競争入札による落札者に委託しているところである。

平成23年3月には平成21年調査分について実施状況を取りまとめ(別添2参照)、調査票の回収率100パーセントを達成できなかったこと及び審査が不十分なまま報告された等の問題が生じたところである。

今後、平成23年から25年までの調査分については、これらの問題点等を踏まえ、適切に本業務を遂行できるよう民間競争入札実施要項において、業務に必要な情報を開示する等の改善策を反映し、民間競争入札を実施することとする。

#### (2) 契約期間

契約期間については、基本方針に基づき複数年とする必要があり、また、より長期に委託することによって民間事業者の創意工夫を促し、調査の質の維持向上や経費削減を図るため、これまでの2年分の契約から、今回は3年分の契約を予定している。

## 「公共サービス改革基本方針」(抄)

(平成22年7月6日閣議決定)

(別表)

## 1. 統計調査関連業務

事項名	措置の内容等	担当府省等
(5)農林水産省 所管の統計調査	<p>○ <u>次の内容の民間競争入札により事業を実施する内水面漁業生産統計調査について、実施要項等に基づき適切に運営する。</u></p> <p>【業務の概要及び入札の対象範囲】 調査員の確保・指導、調査関係用品の印刷、調査票の送付・回収・受付、督促、照会対応、個票審査、集計、統計表の作成に係る業務</p> <p>【契約期間】 平成21年11月から平成23年8月までの1年10か月間</p> <p>【平成23年度以降の事業に関する計画の策定】 <u>上記事業の実施状況等を踏まえ、平成23年度以降の事業について民間競争入札を実施するための計画を、監理委員会と連携しつつ、平成23年3月末までに策定する。</u></p>	農林水産省

(別添2)

平成23年3月15日  
農林水産省  
大臣官房統計部

民間競争入札実施事業  
内水面漁業生産統計調査の実施状況について  
(平成21年調査分)

I 事業の概要

「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」(平成18年法律第51号)に基づく民間競争入札を行い、以下の内容により平成21年及び22年調査の事業を実施している。

1 事業内容

内水面漁業生産統計調査における実査準備(調査関係用品の印刷、調査客体への協力依頼・確定、調査員の確保・指導)、実査(調査関係用品の配付、調査客体からの問い合わせ・苦情等の対応、調査票の回収・督促)、審査(調査票の審査、調査客体への疑義照会)、集計、統計表の作成及び調査客体への謝礼支給業務

2 契約期間

平成21年11月から23年8月までの1年10か月間

3 受託者

財団法人 農林統計協会

II 確保すべき質の達成状況及び評価

平成21年調査における確保すべき質の達成状況及び評価は次のとおり。

1 調査票の回収率

調査票の回収率は、民間事業者が内水面漁業に精通した再委託先(民間事業者が、調査員の確保、調査客体への協力依頼及び調査票の配付・回収・督促の業務について再委託を行った先をいう。以下同じ。)を通じて協力依頼を行い、調査依頼時に協力を得ることが極めて困難であると判断した調査客体については、調査への協力が得られるよう、農林水産省と連携して対応したが、最終的に協力を得ることができなかった客体が5件あり、99.8%の回収率となった。

調査拒否の理由を確認したところ、信頼関係のあった調査員が変更となったことを挙げた客体が3件、行政に対する不満を理由とするものが1件、理由を明らかにしな

いものが1件あった。このことから、調査主体が変更となったことを契機に、調査に非協力となった可能性も否定できない。

表1 調査票の回収率

	調査	調査客体数	調査票数	有効回収数	有効回収率
民間事業者 (平成21年)	計	3,607	2,699	2,694	99.8%
	漁獲調査	727	727	727	100.0%
	養殖調査	1,844	1,844	1,839	99.7%
	3湖沼調査	1,036	128	128	100.0%
国 (平成19年)	計	3,926	2,792	2,792	100.0%
	漁獲調査	672	672	672	100.0%
	養殖調査	1,987	1,987	1,987	100.0%
	3湖沼調査	1,267	133	133	100.0%

注1：内水面漁業生産統計調査は、内水面漁業協同組合等の漁獲量等を調査する内水面漁業漁獲統計調査（以下「漁獲調査」という。）、内水面養殖業経営体の収穫量等を調査する内水面養殖業収穫統計調査（以下「養殖調査」という。）及び3湖沼（琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦）に属する漁業・養殖業経営体の漁獲量、収穫量等を調査する3湖沼漁業生産統計調査（以下「3湖沼調査」という。）の3調査より構成されている（以下同じ。）。

注2：3湖沼調査においては、水揚機関で生産量等を把握可能な調査客体については、水揚機関で一括して調査を行うことから、1,036調査客体を128件の調査票で取りまとめている（以下同じ。）。

注3：国は平成20年まで直接調査していたが、20年は5年周期に実施するすべての河川及び湖沼を範囲とした調査を実施していたため、調査規模がほぼ等しい平成19年と比較した（以下表2、表3及び表4について同じ。）。

## 2 調査員の確保、調査客体への協力依頼

民間事業者は、内水面漁業に精通した再委託先が、郵送・FAXで調査を依頼する内水面漁業協同組合以外の調査客体に対し調査を行うため必要とされる調査員の人数を決定・確保し、指導を行った。

調査員の確保については、再委託先が内水面漁業に精通した者を選定することとしていたが、調査に従事可能かつ必要な専門的知見を有した者を確保することに時間を要したことから、当初平成21年12月中に行う予定が22年1月となり、調査員への指導を完了したのは予定より約1週間遅れの1月28日となった。

民間事業者は、農林水産省から貸与された調査客体名簿の調査方法欄に記載されたこれまでの調査方法を参考に、調査員等による訪問（1,015件）又は電話（1,684件）により調査客体に対して協力依頼を行うとともに、調査方法の確認を行った。

なお、電話により協力依頼を行った場合には、後日郵送により協力依頼状を送付した。

### 3 実査

#### (1) 調査票の配付

協力依頼を調査員等が訪問して行った場合には直接、電話で行った場合には郵送により1月に行った。

#### (2) 問い合わせ、苦情等の対応状況

調査客体からの照会対応については、「問い合わせ・苦情等対応窓口」を民間事業者内部に設置し、担当者1名を置いたほか、各都道府県ごとに配置した担当者及び調査員が随時対応した。

平成22年1月から3月までに民間事業者が受けた問い合わせ・苦情件数は53件であり、国が直接調査を実施していた19年の73件と比べ減少した（国は20年まで直接調査していたが、20年は5年周期に実施するすべての河川及び湖沼を範囲とした調査を実施していたため、調査規模がほぼ等しい19年と比較した。）。

表2 調査客体から民間事業者への問い合わせ・苦情等対応状況

調査実施主体	合計	調査の概要・目的・方法等について	調査票の内容・記入の仕方について	苦情	その他
民間事業者 (平成21年)	53	7	30	7	9
国 (平成19年)	73				

#### ○ 問い合わせの主な内容

- ・調査の概要・目的・方法等について：民間の調査員には教えたくない 等
- ・調査票の内容・記入の仕方について：外来魚の記入箇所について 等
- ・苦情：調査客体の名前が間違っている 等
- ・その他：調査票の送付先について 等

#### (3) 調査票の回収・督促

おおむね予定どおりの2月中旬までに調査票を回収した。未回収の調査客体については、調査員又は各都道府県ごとに配置した担当者が電話により延べ336回の督促を行った。

なお、調査員の確保が遅れたこと（18都道府県1,050件、調査員75人）や一部客体において連絡がつかなかったこと等の理由により、すべての調査票を回収したのは、予定より約3週間遅れの3月9日となった。

表3 督促回数

	計	漁獲調査	養殖調査	3湖沼調査
民間事業者 (平成21年)	336	37	260	39
国 (平成19年)	357	49	286	22

#### 4 審査

民間事業者は、農林水産省との打合せを十分行った上で、調査票の審査事項等を記述した手引を作成し、これに基づいて多段階(調査員段階、都道府県段階及び全国段階)での審査体制を整備した。

調査票の審査は、各段階において、審査事項一覧表に基づいて行い、データの未記入、不備等があったものについて、電話により疑義照会を行い、修正した内容についても、同様に審査を行った。

しかしながら、3の(3)にある調査票の回収の遅れにより、審査時間が十分に確保できず、不十分な審査となった調査票もあった。

なお、民間事業者へのヒアリングによると、内水面漁業は生産量等の変動が大きいために、数値の妥当性の判断には、内水面漁業生産統計に関する専門的知見が必要とのことであった。

表4 疑義照会件数

		計	漁獲調査	養殖調査	3湖沼調査
民間事業者 (平成21年)	照会 計	1,399	412	828	159
	件数 概数値	303	141	149	13
	確定値	1,096	271	679	146
国 (平成19年)	照会件数	374	86	212	76

○ 疑義照会の主な内容

- ・遊漁者(レクリエーション目的)による採捕量ではないか
- ・新たに稚魚の販売を始めたのか
- ・単位間違いではないか

#### 5 集計

その後、審査済み調査票を電子化し、農林水産省から貸与された集計プログラムを用いて集計した。集計結果及び調査票の備考欄に記入された増減理由等の増減要因を整理し、都道府県別に「内水面漁業・養殖業生産量に関する情報」を作成した。

#### 6 報告

(1) 集計結果については、審査事項一覧表に基づき審査を行い、疑義が生じた場合は調査票の再審査を行い、必要に応じて調査客体へ電話により疑義照会を行った上で、

- データの修正、再集計を行い、集計結果等を期日どおりに農林水産省に報告した。
- (2) しかしながら、民間事業者から報告された集計結果等を農林水産省で確認したところ、一部地域の集計結果において疑義が生じたことから、民間事業者に対して照会(896件)を行い、再審査した結果、一部の調査票及び集計結果について修正が生じた。
- (3) これは、調査員の確保が遅れた地域において、審査の時間が十分に確保できなかったことにより、審査が不十分なまま農林水産省に報告されたことによる。
- (4) 疑義照会件数は1,399件となり、国が直接調査していた平成19年の374件に比べ、増加した。
- (5) これは、(2)の理由により再照会が生じていること、確定値取りまとめの際にも同様の理由で再照会が行われたためである。

## 7 確定値取りまとめ

確定値取りまとめについては、調査客体に対して電話又は訪問により変更がないか確認の上で、再審査・集計を行い、スケジュールどおりに農林水産省に報告した。

## 8 調査客体への謝礼支給

3湖沼調査については、漁獲調査及び養殖調査に比べ、調査項目が多く、調査票の記入に係る調査客体の負担が大きいことから、往復郵送調査に協力した調査客体に対し謝金を支給することとしており、調査終了後、71件に対して謝礼を支給した。

## 9 評価

一部地域で調査員の確保の遅れから、調査票の回収・督促が遅延したものの、集計・統計表の作成はスケジュールどおり行われ、農林水産省に所定の期日までに報告された。

確保されるべき質として定めた調査票の回収率100%については、調査拒否客体が5件あり、99.8%となった。

調査拒否の客体については、農林水産省と連携しながら、訪問等するなど調査への協力依頼を行ったものの最終的に調査拒否となったものであり、これ以上の協力依頼を行っても協力が得られないと判断でき、やむを得ないものと考えられる。

一方、民間事業者においては、調査員の確保の遅れ等を起因とする調査票の回収の遅れから、一部に審査が不十分なままの調査票がみられたために、再審査、調査客体への再疑義照会、再集計を行う必要が生じた。

平成22年調査においては、調査員は既に確保されており、同様の問題は発生しないと考えられる。

更に、民間事業者においては、21年調査を踏まえ、①審査人員の増加(10人→18人)、②スケジュール管理の徹底、③審査管理シートの作成を行い、これらの措置により、審査を行った者を明確化し、多段階での審査を確実にを行うことを徹底することとしている。また、農林水産省も民間事業者の事業の進捗状況を随時把握し、適切に指導を行うこととする。



### Ⅲ 実施経費の状況及び評価

#### 1 実施経費

本業務に要した経費は、下表のとおり（実施経費は概算）。

単位：千円

費目	見積経費	実施経費
計	97,650	81,983
1 人件費	38,955	26,100
2 事業関係費	46,559	45,007
① 印刷経費	500	384
② 発送費	94	94
③ 研修費	6,028	4,773
④ 謝金	345	163
⑤ 再委託費	39,592	39,592
3 その他 (消費税、事務所費、謝金振込手数料等)	12,136	10,876

注1：見積経費とは、民間事業者が入札時に提示した経費である。

業務初年度における民間事業者の契約時の見積経費と実施経費の主な差異については以下のとおり。

##### (1) 人件費

見積りでは500人の調査員を配置することを予定していたが、内水面漁業に精通した再委託先が郵送、FAXによる調査を依頼したところ、内水面漁業協同組合を中心として郵送、FAX調査が増加したことにより、調査員を170人としたこと、実査の遅れにより審査及び疑義照会を行う時間を十分に確保することが困難となったため、これらの作業に要する時間が見積りよりも短くなったこと等により減少した。

##### (2) 事業関係費

###### ア 印刷経費

3湖沼調査調査票など、水揚機関でまとめて調査することが可能な客体について一括して調査したことから、必要部数が減少したこと等により減少した。

###### イ 発送費

各都道府県への郵送費は、発送する郵便物の数量が見積りとほぼ同じであったため、見積経費とほぼ同額であった。なお、調査客体への郵送調査費用は、再委託費に含まれているため、ここには計上していない。

###### ウ 研修費・謝金

研修費については、見積りよりも調査員の数が少なかったことにより減少した。

謝金については、3湖沼調査において、水揚機関において一括調査したことから、見積りよりも往復郵送調査の調査客体数が少なくなったことにより減少した。

## エ 再委託費

調査員の確保、調査客体への協力依頼、調査票の配付・回収・督促の業務を再委託先に委託する費用であり、見積経費で契約したため同額となった。

### (3) その他（消費税、事務所費、謝礼金振込手数料等）

見積よりも事務所費が減少したことに加え調査員数が少なかったことにより振込手数料が減少したため減少した。

## 2 評価

平成21年調査における民間事業者の実施経費は8,198万円であり、契約時の見積経費は9,765万円であった。

人件費については、調査員数が減少したことと、審査時間が減少したことが主な要因として挙げられる。

このうち調査員数の減少は、民間事業者が、再委託先を活用することにより、郵送調査化を進めたためである。

しかしながら、審査に要する時間の減少については、審査の効率化の側面も一部あるものの、調査員の確保の遅れに伴い審査時間が十分に確保できなかったことも一因となっており、Ⅱの4にもあるように、審査が不十分なままの報告につながったこともあり、この点においては問題がある。

このため、次回の調査においては、Ⅱの9にあるとおり、今年度審査が不十分であったことの対応として、民間事業者において審査体制の充実を図ることを予定しており、人件費が増加する可能性がある。

事業関係費については、研修費・謝金が調査員数が減少したこと、水揚機関により一括調査を行ったことにより、往復郵送調査の調査客体数が少なくなったことが原因として挙げられる。

#### IV 事業の実施状況

##### 1 実施体制

調査の人員配置及び各工程ごとに要した人日は以下のとおり。

工程ごとの人員配置と要した人日

工程	人日（配置人数）
実査準備（調査関係用品の印刷、調査客体への協力依頼・確定、調査員の確保・指導）	70人日（2人）
実査（調査関係用品の配付、調査客体からの問い合わせ・苦情等の対応、調査票の回収・督促）	38人日（1人）
審査（調査票の審査、調査客体への疑義照会）	512人日（10人）
集計、統計表の作成	80人日（10人）
調査客体への謝礼支給	5人日（2人）

注：なお、上記以外に再委託先が2人、都道府県ごとの担当者が95人、調査員が170人で対応している。

##### 2 実査準備

###### (1) 調査関係用品の印刷

調査客体へ送付する調査関係用品及び手引について、農林水産省から提供されたファイルを基に、平成21年12月4日から12月18日までに印刷し、12月22日に農林水産省へ調査関係用品5セットを納品した。

なお、調査関係用品のうち、オンライン調査システムガイドについては、オンライン調査を希望する調査客体の数だけ印刷することとしており、オンライン調査を希望する客体が本年はなかったことから、最小限の印刷部数とした。

印刷部数については、以下のとおり。

調査関係用品印刷物	印刷部数
調査へのご協力をお願い	
① 調査員回収調査用	3,600
② 往復郵送調査用	3,600
封筒	
①送付用封筒（調査関係用品送付用）	3,200
②返信用封筒（往復郵送調査用）	3,200
オンライン調査へのご協力をお願い	3,600
オンライン調査システムガイド	6
内水面漁業漁獲統計調査	
調査票の記入の仕方	1,200
内水面漁業漁獲統計調査票	1,500
内水面養殖業収獲統計調査	
調査票の記入の仕方	2,500
内水面養殖業収獲統計調査票	3,000
3湖沼漁業生産統計調査	
調査票の記入の仕方	170
3湖沼漁業生産統計調査票	170
内水面漁業生産統計調査 調査の手引	450

## (2) 調査客体への調査の協力依頼・確定

調査開始前に、全調査客体に対して調査の協力依頼を行うとともに、調査実施主体が国から民間に変更になったことを連絡した。また、客体ごとに調査方法やこれまでの経緯を整理し、客体情報の一元化を図り回収・督促業務に利用した。

## (3) 調査員の確保・指導

民間事業者において、各都道府県ごとに統計調査及び内水面漁業に精通した担当者を複数名配置するとともに、全国で調査員を170名確保し、各都道府県ごとに研修を行った。

創意工夫として、内水面漁業に精通した再委託先が調査の依頼を行うことで、郵送・FAX調査が増加し、当初の予定に比べ調査員数は減少している。

## 3 実査

### (1) 調査関係用品の配付

調査関係用品の配付については、調査員が調査客体に調査方法（往復郵送調査、FAX調査、オンライン調査又は調査員調査）を確認の上で、調査員が調査客体に直接手渡し又は郵送により平成22年1月に配付した。

### (2) 調査客体からの問い合わせ・苦情等の対応

調査客体からの問い合わせ・苦情等の対応については、「問い合わせ・苦情等対

応窓口」を民間事業者内部に設置し、担当者1名を置いたほか、各都道府県ごとに配置した業務担当者及び調査員が電話により随時対応した。

調査客体から照会があった場合には、適宜これに対応するとともに、「問い合わせ・苦情等対応状況」に内容を整理するとともに、民間事業者の創意工夫により、その内容をデータベース化し、随時、更新することで情報を蓄積し、内部で情報を共有することにより、照会対応の効率化を図った。

### (3) 調査票の回収・督促

調査客体から指定した期日までに調査票を回収するとともに、未回収調査客体に対して電話により督促を行った。

調査票の回収については、調査員の面接・聞き取り、郵送、オンライン又はFAXの中から調査客体が希望する方法により行った（調査員の面接・聞き取り1,022件、郵送1,446件、オンライン0件、FAX226件（国調査時（平成19年）調査員の面接・聞き取り1,402件、郵送1,390件））。

調査票の回収・督促業務の実施状況は以下のとおり。

	人日	日程
合 計	22	
調査票の回収	20	22年1月20日～3月9日
督促業務	2	22年1月25日～3月9日

注：なお、上記以外に再委託先が2人、都道府県ごとの担当者が95人、調査員が170人で対応している（以下4についても同じ）。

## 4 審査

調査票の審査については、概数値取りまとめにおいて、審査事項一覧表に基づき多段階で審査を行った。

審査基準に合わない調査客体については、該当する調査客体に対して各都道府県の業務担当者又は調査員が電話により疑義照会を行い、必要に応じて修正を行った。

確定値の取りまとめに当たっては、概数値取りまとめ以降に変更がないか調査客体に対して電話又は訪問により確認を行い、再審査を行った上で、誤りのないことを確認して数値を確定した。

調査票の審査、調査客体への疑義照会業務の実施状況は以下のとおり。

		人日	日程
合 計		512	
概数値	調査票の審査	186	22年1月25日～3月10日
	調査客体への疑義照会	80	22年1月25日～3月9日
確定値	調査票の審査	74	22年6月15日～8月23日
	調査客体への疑義照会	172	22年6月15日～8月10日

## 5 集計、統計表の作成

審査済みのデータを入力して、農林水産省から貸与された内水面漁業生産統計調査集計プログラムを用いて集計、審査し、全国・都道府県別・河川湖沼別結果表及び本年値と前年値が記載された全国・都道府県別・河川湖沼別検討表を作成した。

作成した結果データについては、民間事業者が各都道府県ごとに審査事項一覧表に基づき、本年値と前年値の比較検討を行い、審査基準と合わない場合には、その要因について検討し、該当する調査客体に対して疑義照会を行うとともに、必要に応じ調査票の修正を行い、調査票の内容や内水面漁業関連情報を各都道府県ごとの「内水面漁業・養殖業生産量に関する情報」に取りまとめた。

審査終了後の結果データについては、農林水産省が定めた実施要項に則り、画一的な秘匿措置（調査件数が3未満の場合、当該数値を記号に変換）を行い、定められた期日までに農林水産省に納品した。創意工夫した点として、秘匿措置を講ずるためのプログラムを新たに開発し、秘匿措置に係る時間の短縮を図った。

集計・統計表の作成の実施状況は以下のとおり。

	人日	日程
合計	80	
概数値	53	22年3月15日～3月24日
確定値	27	22年8月10日～8月24日

## 6 調査客体への謝礼支給

3湖沼統計調査の調査客体のうち、往復郵送調査の方法により調査を実施した水揚機関等（71件）に対して調査終了後に確認した口座に対して謝金（2,300円）を現金振り込みにより支給した。

調査客体への謝礼支給業務の実施状況は以下のとおり。

- ・平成22年5月6日～5月28日
- ・延べ5人日

調査客体への謝礼支給の状況は以下のとおり。

	調査客体数	受領辞退客体数	支給金額
謝礼支給	71	0	163,300円

## 7 調査客体への対応状況

平成22年8月末現在の内水面漁業生産統計調査における調査客体に対して、アンケートを郵送により行い、民間事業者の対応状況について把握した。

### (1) 実施状況

①事務局からの調査協力依頼状況、②調査員の対応状況、③事務局への問い合わせ等の対応状況、④事務局からの督促対応状況、⑤事務局からの内容照会等対応状況、⑥事務局全体の感想について、アンケートを実施（22年9月2日発送、9月22日締め切り）した。

アンケートは、平成21年内水面漁業生産統計調査で調査票を記入した調査客体を対象とし、回収率50%を想定して抽出した調査客体を対象にアンケート調査票を郵送し、回答があったものを集計した。調査対象数、回答数等は以下のとおり。

	対象数	有効回答数	有効回収率
合計	672	306	45.5%
漁獲調査	182	115	63.2%
養殖調査	458	178	38.9%
3湖沼調査	32	13	40.6%

## (2) 集計結果

### ア 調査協力依頼状況

調査の協力依頼について「郵送」（162客体）、「訪問」（99客体）、「電話」（42客体）で行われたと回答のあった客体のうち、「訪問」又は「電話」で協力依頼があったと回答した客体から、時間帯について「不都合であった」との回答が5件、対応態度について「悪い」又は「どちらかという悪い」という回答が2件、説明内容について「分かりづらい」又は「どちらかという分かりづらい」との回答が3件あった。

### イ 調査員の対応状況

「調査員の面接・聞き取り」により調査が行われたと回答のあった客体（105客体）のうち、調査員の訪問の時間帯について、「不都合があった」との回答が6件、対応態度について、「どちらかという悪い」又は「悪い」との回答が2件、調査票を「記入しなくてよいといわれた」又は「記入できるところだけでよいといわれた」との回答が6件あり、不適切な対応があったと思われる。

### ウ 問い合わせ等の対応状況

事務局に対して問い合わせを行ったと回答のあった客体（25客体）のうち、問い合わせに対する回答までの時間が「どちらかといえば長かった」又は「長かった」との回答が2件あったほかは、対応・態度・説明内容等について好意的な回答であった。

### エ 督促対応状況

事務局から調査票の提出に対する督促が「あった」と回答のあった客体（36客体）のうち、督促電話の時間帯について「不都合があった」との回答が1件、対応態度で「悪い」との回答が1件、調査票を「記入できるところだけでよいといわれた」との回答が1件、督促に対する説明時間が「長かった」との回答が1件あり、不適切な対応があったと思われる。

### オ 内容照会等対応状況

事務局から調査票についての内容照会が「あった」と回答のあった客体（76客体）からは、内容照会の説明について「どちらかといえばわかりづらい」が1件、説明時間が「どちらかといえば長かった」が3件あった。

## 内水面漁業生産統計調査の実施状況に関するアンケート集計結果

### ◎アンケート回収率

	対象数	有効回答数	有効回答率
合計	672	306	45.5%
漁獲調査	182	115	63.2%
養殖調査	458	178	38.9%
3湖沼調査	32	13	40.6%

### 【事務局からの調査協力依頼状況】

問1 調査の協力依頼は、どのように行われましたか。

	回答調査対象数		訪問		電話		郵送		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	306	100.0%	99	32.4%	42	13.7%	162	52.9%	3	1.0%
漁獲	115	100.0%	37	32.2%	14	12.2%	64	55.7%	-	0.0%
養殖	178	100.0%	55	30.9%	27	15.2%	93	52.2%	3	1.7%
3湖沼	13	100.0%	7	53.8%	1	7.7%	5	38.5%	-	0.0%

問1-1 調査協力依頼の時間帯はいかがでしたか。

	計		特に問題ない		就業時間内で不都合があった		就業時間外で不都合があった		わからない		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	141	100.0%	128	90.8%	4	2.8%	1	0.7%	6	4.3%	-	0.0%
漁獲調査	51	100.0%	49	96.1%	-	0.0%	-	0.0%	1	2.0%	1	2.0%
養殖調査	82	100.0%	71	86.6%	4	4.9%	1	1.2%	5	6.1%	1	1.2%
3湖沼調査	8	100.0%	8	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問2 調査協力依頼の事務局の対応態度は、いかがでしたか。

	計		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	141	100.0%	92	65.2%	45	31.9%	1	0.7%	1	0.7%	2	1.4%
漁獲調査	51	100.0%	37	72.5%	14	27.5%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
養殖調査	82	100.0%	49	59.8%	29	35.4%	1	1.2%	1	1.2%	2	2.4%
3湖沼調査	8	100.0%	6	75.0%	2	25.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問2で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

- ・一度電話で連絡があったが、その後は直接連絡を頂けなかった。

問3 調査の協力依頼の事務局の説明内容は、いかがでしたか。

	計		分かりやすい		どちらかといえば分かりやすい		どちらかといえば分かりづらい		分かりづらい		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	141	100.0%	78	55.3%	56	39.7%	1	0.7%	2	1.4%	4	2.8%
漁獲調査	51	100.0%	32	62.7%	18	35.3%	-	0.0%	-	0.0%	1	2.0%
養殖調査	82	100.0%	40	48.8%	38	46.3%	-	0.0%	2	2.4%	2	2.4%
3湖沼調査	8	100.0%	6	75.0%	-	0.0%	1	12.5%	-	0.0%	1	12.5%

問3で「どちらかといえば分かりづらい」又は「分かりづらい」と回答があった場合の具体例

- ・協力を依頼した人が、内水面の魚について詳しくない人だった。



問4 調査の協力依頼は、どのような方法がよいですか。

	計		訪問		電話		郵送		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	306	100.0%	71	23.2%	44	14.4%	175	57.2%	6	2.0%	10	3.3%
漁獲調査	115	100.0%	28	24.3%	20	17.4%	65	56.5%	1	0.9%	1	0.9%
養殖調査	178	100.0%	38	21.3%	24	13.5%	104	58.4%	5	2.8%	7	3.9%
3湖沼調査	13	100.0%	5	38.5%	-	0.0%	6	46.2%	-	0.0%	2	15.4%

問4で「その他」と回答があった場合の具体例

- ・国に対して直接郵送で返信する。
- ・内容により、訪問調査と電話を使い分ける。
- ・電子メール。

問5 事務局の調査の協力依頼について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください

- ・決算処理時期であり多忙。非常にわずらわしい。
- ・訪問日時をあらかじめ電話願いたい。
- ・なるべく対面で調査をお願いしたい。
- ・8月は忙しいので避けてもらいたい。

【調査員の対応状況】

問1 調査は、どのような方法により行われましたか。

	計		調査員の面接・聞き取り		郵送		その他(FAX等)		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	306	100.0%	105	34.3%	169	55.2%	15	4.9%	17	5.6%
漁獲調査	115	100.0%	35	30.4%	65	56.5%	6	5.2%	9	7.8%
養殖調査	178	100.0%	63	35.4%	99	55.6%	8	4.5%	8	4.5%
3湖沼調査	13	100.0%	7	53.8%	5	38.5%	1	7.7%	-	0.0%

問1-1 訪問の時間帯に問題はありましたか。

	計		特に問題ない		就業時間内で不都合があった		就業時間外で不都合があった		わからない		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	105	100.0%	94	89.5%	6	5.7%	-	0.0%	4	3.8%	1	1.0%
漁獲調査	35	100.0%	33	94.3%	1	2.9%	-	0.0%	1	2.9%	-	0.0%
養殖調査	63	100.0%	54	85.7%	5	7.9%	-	0.0%	3	4.8%	1	1.6%
3湖沼調査	7	100.0%	7	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問2 調査員の対応態度は、いかがでしたか。

	計		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	105	100.0%	73	69.5%	29	27.6%	1	1.0%	1	1.0%	1	1.0%
漁獲調査	35	100.0%	24	68.6%	11	31.4%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
養殖調査	63	100.0%	42	66.7%	18	28.6%	1	1.6%	1	1.6%	1	1.6%
3湖沼調査	7	100.0%	7	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問2で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

- ・えらそうな態度だった。

問3 調査員の説明の中で、調査票の記入を軽視するような発言はありましたか。

	計		なかった		記入しなくてよい(白紙でもよい)といわれた		記入できるところだけでよいといわれた		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	105	100.0%	95	90.5%	1	1.0%	5	4.8%	2	1.9%	2	1.9%
漁獲調査	35	100.0%	32	91.4%	-	0.0%	3	8.6%	-	0.0%	-	0.0%
養殖調査	63	100.0%	56	88.9%	1	1.6%	2	3.2%	2	3.2%	2	3.2%
3湖沼調査	7	100.0%	7	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問3で「その他」と回答があった場合の具体例

- ・覚えていない。
- ・問題ばかり。

問4 調査員の対応について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

- ・丁寧に説明してもらい、大変分かりやすかった。
- ・業界の状況を考慮して言葉を選んで欲しい。
- ・親切で分かりやすかった。
- ・大変良いと思う。

【事務局への問い合わせ等の対応状況】

問1 事務局へ問い合わせ等をされましたか。

	計		した		しなかった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	306	100.0%	25	8.2%	261	85.3%	20	6.5%
漁獲調査	115	100.0%	13	11.3%	95	82.6%	7	6.1%
養殖調査	178	100.0%	11	6.2%	154	86.5%	13	7.3%
3湖沼調査	13	100.0%	1	7.7%	12	92.3%	-	0.0%

問1-1 問1で「した」と選択された場合、どのようなことで問い合わせされましたか。

	計		調査の内容に係る問い合わせ		調査に対する意見・要望		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	25	100.0%	17	68.0%	1	4.0%	5	20.0%	2	8.0%
漁獲調査	13	100.0%	12	92.3%	-	0.0%	1	7.7%	-	0.0%
養殖調査	11	100.0%	4	36.4%	1	9.1%	4	36.4%	2	18.2%
3湖沼調査	1	100.0%	1	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問1-1の内容の具体例

- ・漁獲量は販売目的とした数量なのかどうか。
- ・前回調査内容との比較確認。
- ・調査票の回収時期、方法について。

問2 事務局へ問い合わせ等されたときの電話のつながり具合は、いかがでしたか。

	計		すぐつながった		どちらかといえばすぐつながった		どちらかといえば待たされた		待たされた		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	25	100.0%	14	56.0%	5	20.0%	-	0.0%	-	0.0%	6	24.0%
漁獲調査	13	100.0%	10	76.9%	2	15.4%	-	0.0%	-	0.0%	1	7.7%
養殖調査	11	100.0%	4	36.4%	3	27.3%	-	0.0%	-	0.0%	4	36.4%
3湖沼調査	1	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	100.0%

問3 事務局の対応態度は、いかがでしたか。

	計		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	25	100.0%	15	60.0%	6	24.0%	-	0.0%	-	0.0%	4	16.0%
漁獲調査	13	100.0%	12	92.3%	1	7.7%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
養殖調査	11	100.0%	2	18.2%	5	45.5%	-	0.0%	-	0.0%	4	36.4%
3湖沼調査	1	100.0%	1	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問3で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

・なし

問4 問い合わせ等に対する事務局の説明内容は、いかがでしたか。

	計		わかりやすい		どちらかといえばわかりやすい		どちらかといえばわかりづらい		わかりづらい		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	25	100.0%	14	56.0%	7	28.0%	-	0.0%	-	0.0%	4	16.0%
漁獲調査	13	100.0%	10	76.9%	2	15.4%	-	0.0%	-	0.0%	1	7.7%
養殖調査	11	100.0%	3	27.3%	5	45.5%	-	0.0%	-	0.0%	3	27.3%
3湖沼調査	1	100.0%	1	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問5 問い合わせ等に対する事務局の回答までの時間は、いかがでしたか。

	計		短かった		どちらかといえば短かった		どちらかといえば長かった		長かった		その場での回答がなかった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	25	100.0%	10	40.0%	8	32.0%	1	4.0%	1	4.0%	-	0.0%	5	20.0%
漁獲調査	13	100.0%	8	61.5%	3	23.1%	1	7.7%	-	0.0%	-	0.0%	1	7.7%
養殖調査	11	100.0%	1	9.1%	5	45.5%	-	0.0%	1	9.1%	-	0.0%	4	36.4%
3湖沼調査	1	100.0%	1	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問6 事務局の問い合わせ等の対応について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

・自由に聞ける。

【事務局からの督促対応状況】

問1 事務局から調査票の提出に対する督促がありましたか。

	計		あった		なかった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	306	100.0%	36	11.8%	248	81.0%	22	7.2%
漁獲調査	115	100.0%	15	13.0%	94	81.7%	6	5.2%
養殖調査	178	100.0%	20	11.2%	142	79.8%	16	9.0%
3湖沼調査	13	100.0%	1	7.7%	12	92.3%	-	0.0%

問1-1 問1の電話の時間帯は、いかがでしたか。

	計		特に問題ない		就業時間内で不都合があった		就業時間外で不都合があった		わからない		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	36	100.0%	33	91.7%	1	2.8%	-	0.0%	1	2.8%	1	2.8%
漁獲調査	15	100.0%	14	93.3%	-	0.0%	-	0.0%	1	6.7%	-	0.0%
養殖調査	20	100.0%	18	90.0%	1	5.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	5.0%
3湖沼調査	1	100.0%	1	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問2 事務局の対応態度はいかがでしたか。

	計		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	36	100.0%	22	61.1%	13	36.1%	-	0.0%	1	2.8%
漁獲調査	15	100.0%	9	60.0%	6	40.0%	-	0.0%	-	0.0%
養殖調査	20	100.0%	12	60.0%	7	35.0%	-	0.0%	1	5.0%
3湖沼調査	1	100.0%	1	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問2で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

・なし

問3 事務局の説明の中で、調査票の記入を軽視するような発言はありませんでしたか。

	計		なかった		記入しなくてよい(白紙でもよい)と言われた		記入できるところだけよいと言われた		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	36	100.0%	32	88.9%	-	0.0%	1	2.8%	-	0.0%	3	8.3%
漁獲調査	15	100.0%	13	86.7%	-	0.0%	1	6.7%	-	0.0%	1	6.7%
養殖調査	20	100.0%	18	90.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	2	10.0%
3湖沼調査	1	100.0%	1	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問3で「その他」と回答があった場合の具体例

・なし

問4 事務局の督促に対する説明時間は、いかがでしたか。

	計		短かった		どちらかといえば短かった		どちらかといえば長かった		長かった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	36	100.0%	16	44.4%	15	41.7%	-	0.0%	1	2.8%	4	11.1%
漁獲調査	15	100.0%	6	40.0%	7	46.7%	-	0.0%	-	0.0%	2	13.3%
養殖調査	20	100.0%	10	50.0%	7	35.0%	-	0.0%	1	5.0%	2	10.0%
3湖沼調査	1	100.0%	-	0.0%	1	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問5 事務局の督促の対応について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

・なし

【事務局からの内容照会等対応状況】

問1 事務局から調査票について内容照会等がありましたか。

	計		あった		なかった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	306	100.0%	76	24.8%	213	69.6%	17	5.6%
漁獲調査	115	100.0%	26	22.6%	85	73.9%	4	3.5%
養殖調査	178	100.0%	45	25.3%	120	67.4%	13	7.3%
3湖沼調査	13	100.0%	5	38.5%	8	61.5%	-	0.0%

問1-1 問1の電話の時間帯は、いかがでしたか。

	回答調査対象数		特に問題ない		就業時間内で不都合があった		就業時間外で不都合があった		わからない		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	76	100.0%	69	90.8%	-	0.0%	-	0.0%	1	1.3%	6	7.9%
漁獲	26	100.0%	25	96.2%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	3.8%
養殖	45	100.0%	39	86.7%	-	0.0%	-	0.0%	1	2.2%	5	11.1%
3湖沼	5	100.0%	5	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問2 事務局の対応態度はいかがでしたか。

	回答調査対象数		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	76	100.0%	53	69.7%	20	26.3%	-	0.0%	-	0.0%	3	3.9%
漁獲	26	100.0%	23	88.5%	3	11.5%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
養殖	45	100.0%	26	57.8%	16	35.6%	-	0.0%	-	0.0%	3	6.7%
3湖沼	5	100.0%	4	80.0%	1	20.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問2で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

・なし。

問3 事務局の調査票についての内容照会の説明はいかがでしたか。

	回答調査対象数		わかりやすい		どちらかといえばわかりやすい		どちらかといえばわかりづらい		わかりづらい		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	76	100.0%	46	60.5%	25	32.9%	1	1.3%	-	0.0%	4	5.3%
漁獲	26	100.0%	20	76.9%	6	23.1%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
養殖	45	100.0%	23	51.1%	18	40.0%	1	2.2%	-	0.0%	3	6.7%
3湖沼	5	100.0%	3	60.0%	1	20.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	20.0%

問4 事務局の内容照会の説明時間は、いかがでしたか。

	回答調査対象数		短かった		どちらかといえば短かった		どちらかといえば長かった		長かった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	76	100.0%	28	36.8%	38	50.0%	3	3.9%	-	0.0%	7	9.2%
漁獲	26	100.0%	13	50.0%	11	42.3%	1	3.8%	-	0.0%	1	3.8%
養殖	45	100.0%	14	31.1%	23	51.1%	2	4.4%	-	0.0%	6	13.3%
3湖沼	5	100.0%	1	20.0%	4	80.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問5 事務局の内容照会状況等の対応について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

・大変良いと思います。

【事務局全体の感想】

問1 事務局への全体的な感想は、いかがでしたか。

	回答調査対象数		満足であった		どちらかといえば満足であった		どちらかといえば不満足であった		不満足であった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	306	100.0%	94	30.7%	152	49.7%	11	3.6%	2	0.7%	47	15.4%
漁獲	115	100.0%	41	35.7%	54	47.0%	6	5.2%	-	0.0%	14	12.2%
養殖	178	100.0%	49	27.5%	90	50.6%	5	2.8%	2	1.1%	32	18.0%
3湖沼	13	100.0%	4	30.8%	8	61.5%	-	0.0%	-	0.0%	1	7.7%

**問2 事務局についてお気づきの点がありましたらご自由にお書きください。**

- ・全体に良かった。
- ・調査結果について何かのタイミングで公表通知下さればと思います。
- ・当施設の担当責任者が不在が多く、電話に対し留守が多く逆に迷惑をかけたと思います。
- ・特にないが、身分証、名刺等の提示がないため、本当に農水省関係の人かどうか分からない。
- ・必ずお電話を下さってからの訪問ですので、こちらも対応がしやすいです。薬品の取扱いについて等もこちらの質問にも気持ちよく相談に乗ってくださる職員の方もいて有り難く思っております。
- ・聞き取り調査だったので楽でした。
- ・郵送なので特に何も感想はない。